

大規模噴火のハザードマップ

このハザードマップは噴火警報（噴火警戒レベル・5）に相当します。

噴火によって発生する現象

降下火砕物（降灰）

- ◆ 上空の風に乗って運ばれた火山灰が、風下側の地上に積もります。大規模な噴火では軽石も混ざって降ります。
- ◆ 屋根に積もった火山灰の重さで木造家屋が倒壊するおそれがあります。
- 「もしも大規模噴火が起こったら…」(左のページ)を参照

火砕流・火砕サージ

- ◆ 高温の岩石や火山灰が、火山ガスと一体になり斜面を時速60~100キロメートルの高速で流れ下ります。
- ◆ 人が巻き込まれると死亡します。
- ◆ 火砕サージは、火山ガスを主体とする希薄な流れのことで、流動性が高く、尾根を乗り越えることがあります。
- 影響を受ける可能性がある範囲では、事前に安全な場所へ避難する必要があります。



溶岩流

- ◆ 高温の溶岩が斜面を流れます。
- ◆ 通り道にある家や道路を埋め、近くの木々を燃やします。
- 溶岩流は、一般に流れる速度が遅いので、あわてず落ち着いて避難しましょう。



※非常にまれに起こる現象

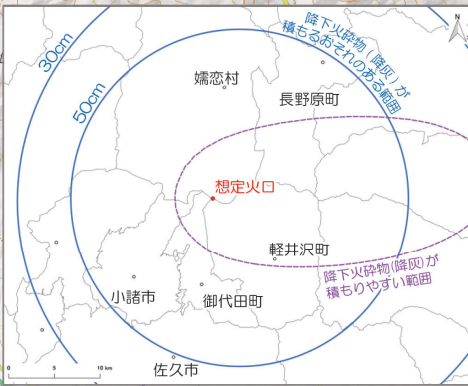
洪水

川の上流に積もった火山灰が、たくさん流されてきて川底にたまるので、川が浅くなり、洪水が起こりやすくなる場合があります。

土石なだれ

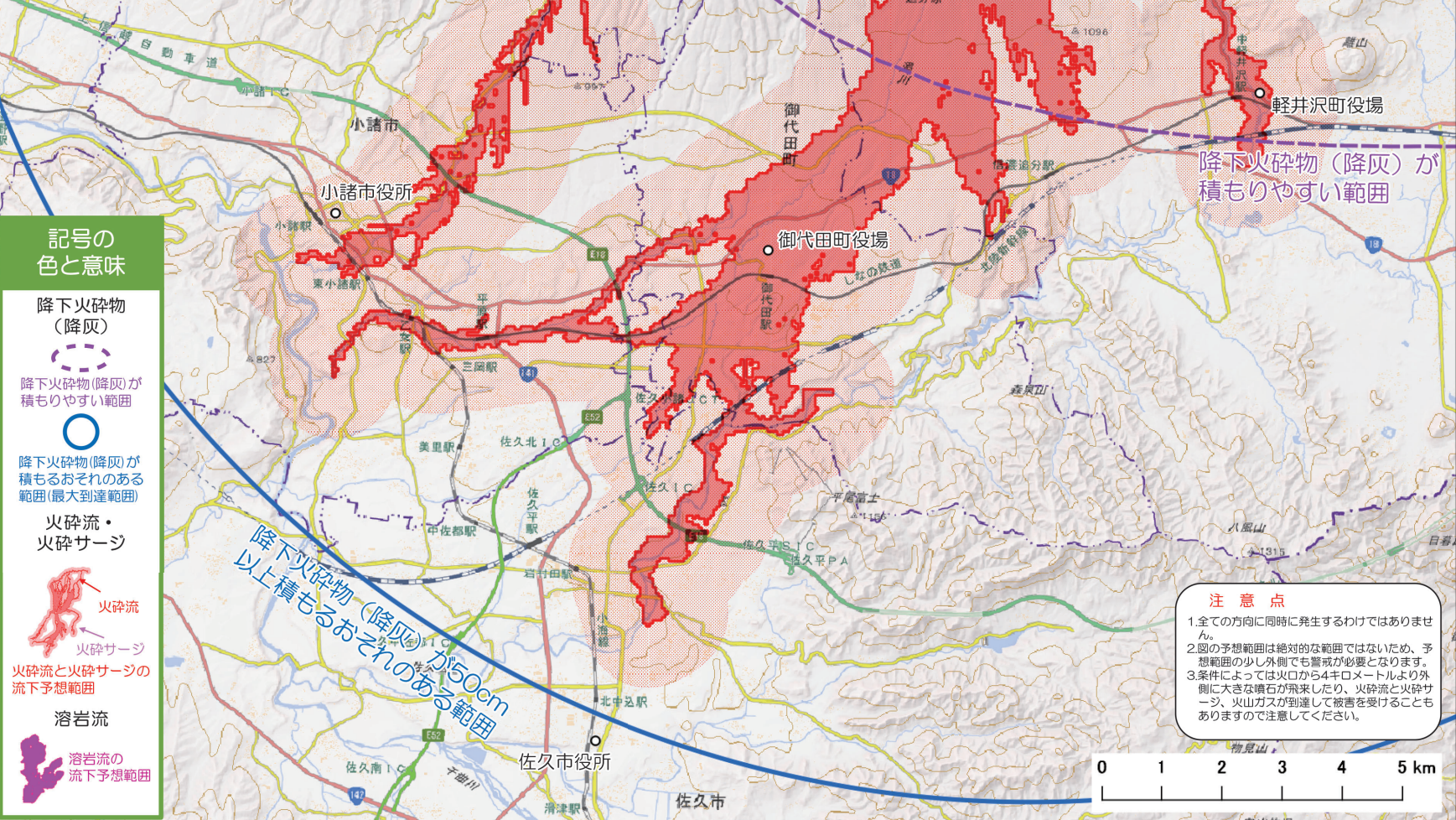
噴火や地震が引き金となり、山体の一部が一気に崩れ（山体崩壊）大量の土砂や岩石が時速100キロメートル以上の速さで流れ下る現象です。

大規模噴火のハザードマップ <降下火砕物（降灰）>



記号の色と意味

- 降下火砕物（降灰）
- 降下火砕物(降灰)が積もりやすい範囲
- 降下火砕物(降灰)が積もるおそれのある範囲(最大到達範囲)
- 火砕流・火砕サージ
- 火砕流
- 火砕サージ
- 火砕流と火砕サージの流下予想範囲
- 溶岩流
- 溶岩流の流下予想範囲



注意 点

1. 全ての方向に同時に発生するわけではありません。
2. 図の予想範囲は絶対的な範囲ではないため、予想範囲の少し外側でも警戒が必要となります。
3. 条件によっては火口から4キロメートルより外側に大きな噴石が飛来したり、火砕流と火砕サージ、火山ガスが到達して被害を受けることもありますので注意してください。

